

八ヶ岳と見あやまる独立峰 茅ヶ岳～金ヶ岳

実施日 2013年9月7日(土)

天候 曇り

リーダー 鈴木 恵美子

参加者 涌井良明、若村勝昭、若村貴世子、島本陳重、渋谷京子、中村友子、石原勝正、石附智江、徳山敬子、関塚七海、小村井好枝、遠井謙策、小名秀鋭、佐藤政司、瀧澤きよの、鈴木恵美子 計16名

費用 JR 3,240円(高尾起算) タクシー1,270円 計4,510円

タイム 韮崎駅(9:06)深田公園入口(9:25~9:40)女岩(10:50~11:00)尾根(11:36)深田久弥終焉の地(11:40~11:45)茅ヶ岳山頂(12:05~12:45)金ヶ岳(13:54~14:05)ふれあいの里入口(15:55)

データ 積算距離 9.1 km
総上昇量 808 m
移動平均速度 2.2 km/h
移動時間 4時間3分

深田公園入口から左の方へ少し行くと、茅ヶ岳登山口の標識があり、右へ入る。

最初はなだらかな林道を登っていく。

50分程で急登になり、20分程で女岩到着。女岩は落石の恐れがあるため、通行止めとなっている。



女岩以降は、所々道が崩れていてわかりにくいのが、赤いリボンと踏み跡を探しながら登る。

茅ヶ岳山頂直下の岩場は慎重に登る。



間もなく尾根に出る。今まで殆ど無風状態で暑かったが、尾根に出ると、心地よい風が吹き、

ほっとする。可憐なマツムシソウやワレモコウが秋の気配を感じさせてくれる。

途中、「深田久弥終焉の地」と書かれた石碑があり、暫し冥福を祈る。

尾根に出してから20分程で山頂に到着。天気がよければ富士山、金峰山、



五丈岩、これから行く金ヶ岳、南アルプス、鳳凰三山方面が臨める筈だが、残念

ながら、ガスがかかって展望は全くない。山頂には立体的な案内板があり、皆



で山の名前を言い合って、せめてもの慰めを得る？昼食を済ませて出かけようとすると、雨がパラパラッ、慌ててカッパを着る。「なんだ、運転手さんの予報は外れたじゃない、私って雨女に逆戻り？」などと思いながら、カッパを着終ったと同時に雨が止む。

カッパを着たまま、今日の第

2のピーク、金ヶ岳に向かって、縦走路に行く。人の顔のように見える大きな石門がある。ゴロゴロ岩で段差の大きいヤ



セ尾根になる。天気なら南アルプスが見える筈の場所を通過するが、ここでも何も見えない。小さなピークに



着いて、その先にはピークが見えないので、ここが金ヶ岳かと思ったが、そこは金ヶ岳の南峰だった。ガスで、本当の金ヶ岳のピークが見えなかったのだ。せ



っかく苦労して標高を稼いだのにまた下って、更に登り20分程で金ヶ

岳山頂に着く。

ちやちな金属の板に「金ヶ岳」と書かれて、木に縛りつけてあるだけだ。金ヶ岳からの下山道、所々、片側が切れ落ちているところがあるから気をつけるようにとのWリ

ーダーの指示があり、慎重に下る。登る前に読んでい



たヤマレコに、「まっすぐ行っちゃいそうですが、作為的な倒木に注目。左を示すペンキもあり。唯一の道迷いポイント」と書いてあったため、気をつけなければと思っていたが、いざ下り始めると頭からそんな1文は吹っ飛び、やはり、倒木を跨いでしまったのか、道がなくなったが、幸いすぐ横に登山道があり、ロスは殆どなかったようだ。

下山を初めてちょうど1時間半、ふれあいの里に着くか着かないかのうちに、雨が降り出す。ぎりぎりセーフ。これも

皆さんの普段の心がけのおかげ(ゴリゴリ)? 今日の山行、珍しいトモエシオガマ、猛毒のトリカブト、金ヶ岳山頂では



タムラソウ(アザミに似ているが葉がトゲトゲしていない)、ナデシコにもお目にかかれたことで、展望のなさは帳消しにして頂けたでしょうか。ともかくも雨に降られなかったのはラッキーでした。参加された皆さん、お疲れ様。サポートしてくださったリーダーの方々、ありがとうございました。また一緒にお付き合い頂けたら嬉しいです。

(記・鈴木 恵美子)

(写真提供・涌井 良明)

